

名張市立北中学校

コミュニティ・スクール



令和3年度

第3回 『学校運営協議会』 部会長会議

【日時】 令和4年1月24日（月） 於：北中学校 校長室

【参加者】 学校運営協議会会長 学校運営部会長 学校支援部会長

地域連携部会長 学校運営協議会コーディネーター

学校長 名張市教育委員会 教育総務室参事 事務局 教頭

【内容】

学校長より

- ・学校評価アンケート、学校自己評価について
- ・小中一貫教育に係る北中校区の取組について

各部会より

- ・学校運営部会 学校運営協議会評価書について
- ・学習支援部会 学習支援について
- ・地域連携部会 避難所開設訓練の総括について

その他

- ・第3回学校運営協議会の開催方法について



第3回 『学校運営協議会』

新型コロナウイルス感染症の拡大により、書面にて開催。
各委員より今年度の評価についてと来年度に向けてのご意見をいただきました。

第4回 『学校運営協議会』 部会長会議

【日時】 令和4年2月7日（月） 於：北中学校 校長室

【内容】 学校運営協議会評価と来年度の取組について

学校運営協議会委員評価

今年度の評価と来年度に向けて

【評価全般】

○重点取組1 「わかる授業づくりと学習意欲の向上」について

小中一貫教育にかかわり、北中校区の「学力向上部会」にて、小、中学校の教育研究担当、学力向上担当者が丁寧に検証し、校区で共通理解をして進めてくれている。地道な取組が今後の成果につながると思います。学力補充のために、家庭学習や運営協議会委員の協力を得ての補充学習の取組が新たにCSの事業として展開されたことがすばらしいと思います。

○重点取組2 「豊かな人間関係と居場所づくり」について

・アンケート等から「みんなで何かをするのが楽しい」(92.4%)、「あなたの考えや気持ちを聞いてくれる先生がいる」(90.5%)という結果であり、コロナ禍の中で、感染症対策を施しながら、生徒同士をつなげるための取組(40周年記念事業を含め)を行ってきた成果であると思います。生徒の気持ちに寄り添って指導してきたことが、北中学校の素晴らしいところであり、さらにそのことを大切にされたい。

・Q-U調査(学級満足度調査)の結果が高いことは、取組の評価でもある。要支援群に該当する生徒や大きな集団になじめないため欠席が多い生徒、調査に参加できなかった生徒などを洗い出し、外部機関と連携しながら改善の筋道を立てられることをお願いしたい。

・生徒会の5つの目標は経年の目標となっていますが、定着しているのか、変更したらいいのか、生徒に検討させてはいかがかと思われる。主体的に取り組むことができる生徒会活動は、北中の看板であり生徒にいろいろ考えさせてみてはどうでしょうか。あいさつ運動やいじめ撲滅動画の作成は、コロナ禍においてよく工夫されていたと思います。

○重点取組3 「生き方を学ぶ教育活動の充実」について

・地域と学校が一体となって子どもを育て、地域を育てる場として防災の取組は大切な切り口であり、コロナ禍であるにもかかわらず、実施できたことは大きな一歩を踏み出すことができたと思います。

・小中一貫教育に関わり、ランドデザインを本年度のメンバーで協議し修正しながら、既存の委員会等を活用しながら進められ、あいさつ運動、いじめ撲滅動画、合唱コンクール等の動画を小学校に発信できたことがすばらしいと思います。

【来年度の方向性について】

・1年生の数学に課題があるとのことであるが、小学校卒業時の算数の学習内容の定着度に問題があるのではないのでしょうか。なぜ定着できなかったのか、何が問題なのか、6年生後半から中学入学までにしなければならないことを小中一貫教育を進めるなかで、小中学校の教員が議論の場を設けることも大切ではないでしょうか。また本年度からスタートした学校運営協議会の協力を得ての学力補充の取組について検証し、次の段階に進めてもらいたい。

・防災の取組は各地域、北中学校避難所運営委員会が積極的に取り組んでいて、中学生の参加は地域を元気づける存在になります。来年度の計画に向け、地域と協議しながら、連携を密にして一緒に進めていきたい。

・コロナ禍で学校では感染症対策を施しながら、タブレットの活用も含め、生徒同士をつなげるための工夫に取り組まれていた。その一方でSNSのトラブルも生まれ、心無い言葉や教育上好ましくない課題も出てきています。保護者が愛情をもって育てられるように、社会全体で取り組む必要があると思います。

【その他】

・コロナ禍で人と人が顔を合わせて活動することが制約される中、生徒同士、中学校と小学校、学校と地域をどのようにつなげていくのか、目指す子ども像「夢をもち、心豊かに、たくましい生徒の育成」の実現に向けて工夫を凝らしながら取組をさらに進めてほしい。

・本年度からスタートした制服のブレザー化への移行については、スムーズに進んでいると聞いている。今後も生徒のニーズや価値観に寄り添いながら、学校教育を進めてほしい。さらに、この取組を市内外に発信し、人々の意識が変わっていくように北中が先頭に立って働きかけていてもらいたい。

・小学校の学校運営協議会との連携が大切であるので、今年度コロナの影響で開催されなかった、北中校区の校長と運営協議会会長が集い、中学校区のコミュニティ・スクールについて共通理解を図る機会を来年度はもちたい。

・校区再編で来年度より桔梗が丘地区からの入学生がいなくなるため、運営協議会委員も減少する。学校規模、教職員数も減る中で、今までのような活気がある北中学校となるよう、子ども達のために何ができるのか、学校と地域がともに知恵を出し合い、今後も取組を進めていきたい。